

# 第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 5 年 5 月 31 日
-------	-----------------

市所管部署	石巻市 河北総合支所地域振興課
-------	-----------------

2 法人名称等

法人名称	株式会社 かほく・上品の郷
法人所在地	石巻市 小船越字二子北下1番地1
設立年月日	平成 16 年 10 月 22 日
代表者職・氏名	代表取締役 佐々木 正文

設立目的・経過	
道の駅「上品の郷」の維持管理及び運営の受諾を行うことを目的とする。平成17年3月「指定管理者に指定」管理に関する協定書締結。平成18年4月石巻市の指定管理者に指定。石巻市との管理に関する協定締結。	

3 定款上の事業内容

- (1) 石巻市及び地方公共団体が設置する（道の駅）の維持管理及び運営の受諾業務
- (2) 書籍・日用品・食料品・たばこ・酒類・農林水産物の販売事業
- (3) 食堂施設の経営事業
- (4) その他前各号に付帯する一切の業務
- (5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外の 出資・出捐者	市以外の者の 出資・出捐額	市以外の者の 出資・出捐割合
50,450 千円	45,000 千円	89.2 %	個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員

	R2期末	R3期末	R4期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	1
非常勤	6	7	7
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	2	2
計	7	8	8
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	2	3

(2) 職員

	R2期末	R3期末	R4期末
常勤	16	15	12
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	42	29	30
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	58	44	42
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

- ・お客様に対するサービスを最大限に心がけ、経営の合理化を図り、地域に貢献できる企業として成長する。
- ・全国の皆様から愛され、親しまれ、また行ってみたいと思われる施設として、地域活性化に貢献する。

# 第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

## 7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和3年度期	令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期
純売上高	千円	目標計画	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
		実績	634,990	718,824			
目標・指標の説明			法人売上高に法人以外の売上高（農産物直売所出品者の売上等）を加えた、道の駅全体の売上高である純売上高を指標とし、目標として年間10億円を設定。				
目標未達の場合の要因分析			毎月2回行っている経営会議で分析し、問題点の改善に努めている。				

## 8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
「道の駅」管理運営	石巻地方の地場産品、食材等の情報発信ができる施設として、また観光の目的地として老若男女を問わず、お客様の集まる場所として認識していただけるようになりました。	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う行動制限の緩和、旅行情報誌「じゃらん」のアンケート調査で全国2位になったことで来客数が増加し、売上が増加しました。10月からのインボイス導入、建設から18年が経過する施設の維持管理についても検討を重ねながら、これまで以上の利益増を目標とし運営を行っていきたい。	キャッシュレス化に向けた取り組みによりお客様の利便性も良くなってきています。売場のレイアウトの見直し、陳列方法を研究しながらお客様が来やすい、買いやすい売場づくりを目指し、取り組んでいます。
事業の公共性、公益性	社員一同笑顔を絶やさず、お客様を感謝の心でお迎えし、常に奉仕の心で対応することを心がけております。直売所では安全安心な商品の販売に努めることはもちろん、お客様に憩いと安らぎ、そして地域に特化した商品等を提供し、体の健康だけでなく心の健康にも配慮した事業を行っております。		

## 9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	株式会社 かほく・上品の郷
------	---------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表（B/S）	借方（科目）	令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減
	流動資産	140,318,599	145,803,517	5,484,918	173,879,949	28,076,432
	うち 現金・預金	125,672,095	127,633,239	1,961,144	150,450,027	22,816,788
	固定資産	48,235,102	24,398,907	▲ 23,836,195	13,926,247	▲ 10,472,660
	有形固定資産	23,230,422	17,955,360	▲ 5,275,062	7,549,686	▲ 10,405,674
	無形固定資産	18,943,053	446,425	▲ 18,496,628	401,600	▲ 44,825
	投資その他の資産	6,061,627	5,997,122	▲ 64,505	5,974,961	▲ 22,161
	資産の合計	188,553,701	170,202,424	▲ 18,351,277	187,806,196	17,603,772
	貸方（科目）	令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減
	流動負債	70,385,353	64,428,584	▲ 5,956,769	78,759,785	14,331,201
	うち 短期借入金	0	0	0	0	0
	固定負債	15,158,112	11,051,688	▲ 4,106,424	10,398,108	▲ 653,580
	うち 長期借入金	8,988,000	6,372,000	▲ 2,616,000	3,756,000	▲ 2,616,000
	負債合計	85,543,465	75,480,272	▲ 10,063,193	89,157,893	13,677,621
	純資産	103,010,236	94,722,152	▲ 8,288,084	98,648,303	3,926,151
	うち 資本金	50,450,000	50,450,000	0	50,450,000	0
	うち 資本剰余金	0	0	0	0	0
	うち 利益剰余金	53,060,236	44,772,152	▲ 8,288,084	48,698,303	3,926,151
	うち その他	▲ 500,000	▲ 500,000	0	▲ 500,000	0
	負債・純資産の部合計	188,553,701	170,202,424	▲ 18,351,277	187,806,196	17,603,772

損益計算書（P/L）	科目	令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減
	売上高	330,218,314	300,763,565	▲ 29,454,749	329,241,018	28,477,453
	売上原価	79,997,842	65,887,358	▲ 14,110,484	62,979,394	▲ 2,907,964
	売上利益	250,220,472	234,876,207	▲ 15,344,265	266,261,624	31,385,417
	販売費・一般管理費	260,342,914	249,278,625	▲ 11,064,289	268,923,050	19,644,425
	営業利益	▲ 10,122,442	▲ 14,402,418	▲ 4,279,976	▲ 2,661,426	11,740,992
	営業外収益	7,802,627	6,428,598	▲ 1,374,029	10,651,312	4,222,714
	営業外費用	1,842,396	106,317	▲ 1,736,079	275,536	169,219
	経常利益	▲ 4,162,211	▲ 8,080,137	▲ 3,917,926	7,714,350	15,794,487
	特別利益	4,386,446	0	▲ 4,386,446	0	0
	特別損失	0	0	0	3,600,000	3,600,000
	税引前当期純利益	224,235	▲ 8,080,137	▲ 8,304,372	4,114,350	12,194,487
	法人税等	208,271	207,947	▲ 324	188,199	▲ 19,748
	当期純利益	15,964	▲ 8,288,084	▲ 8,304,048	3,926,151	12,214,235

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。  
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

区分	令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減
営業活動によるキャッシュフロー	3,233,191	4,839,144	1,605,953	25,443,788	20,604,644
税引前当期純利益	224,235	▲ 8,080,137	▲ 8,304,372	4,114,350	12,194,487
引当金の増減額	12,761,069	24,599,976	11,838,907	14,050,499	▲ 10,549,477
受取利息及び受取配当金	▲ 17,135	▲ 14,708	2,427	▲ 16,016	▲ 1,308
営業活動に係る資産及び負債の増減	▲ 9,439,686	▲ 11,394,754	▲ 1,955,068	7,538,979	18,933,733
利息及び配当金の受取額	17,135	14,708	▲ 2,427	16,016	1,308
利息等の支払額	▲ 104,156	▲ 77,994	26,162	▲ 51,841	26,153
法人税等の支払額	▲ 208,271	▲ 207,947	324	▲ 208,199	▲ 252
投資活動によるキャッシュフロー	50,312,055	312,338	▲ 49,999,717	5,038,778	4,726,440
有価証券の増減額	0	▲ 10,000	▲ 10,000	▲ 11,000	▲ 1,000
有形固定資産等の増減額	14,730,680	▲ 852,000	▲ 15,582,680	0	852,000
投資有価証券の増減額	35,581,375	574,338	▲ 35,007,037	5,049,778	4,475,440
貸付金の増減額	0	0	0	0	0
その他の固定資産等の増減額	0	600,000	600,000	0	▲ 600,000
			0		0
			0		0
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 2,966,000	▲ 2,616,000	350,000	▲ 2,616,000	0
短期借入金の増減額	0	0	0	0	0
ファイナンス・リース債権等の増減額	0	0	0	0	0
長期借入金の増減額	▲ 2,616,000	▲ 2,616,000	0	▲ 2,616,000	0
資本金等の増減額	▲ 350,000	0	350,000	0	0
配当金の支払額	0	0	0	0	0
その他固定資産等の増減額	0	0	0	0	0
			0		0
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	50,579,246	2,535,482	▲ 48,043,764	27,866,566	25,331,084
現金及び現金同等物期首残高	54,445,561	105,024,807	50,579,246	107,560,289	2,535,482
現金及び現金同等物期末残高	105,024,807	107,560,289	2,535,482	135,426,855	27,866,566

(※1) 負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

(※2) 支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分	令和2年度期	令和3年度期	前期増減	令和4年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0	1,000,000	1,000,000
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）			0	1,000,000	1,000,000
委託料及び指定管理料	94,602,000	48,900,000	▲ 45,702,000	16,000,000	▲ 32,900,000
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
短期借入金			0		0
長期借入金			0		0
出資・出捐（期末時）	45,000,000	45,000,000	0	45,000,000	0
債務保証額（期末残高）			0		0
損失補償額（期末残高）			0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）			0		0
			0		0
			0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。  
 ※財務諸表を添付すること。

# 情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社かほく・上品の郷

## 1 貸借対照表に関する補足

### (1) 総括分析

固定資産が10,472千円減少したのは、資産の償却に伴う減額です。  
 流動負債の14,331千円の増額は買掛金、未払費用、事業預かり金の増額及び消費税の未払が増加したことによるものです。  
 「自己資本率」は52.5%です。(当期52.5% 前期55.7% 前々期54.6%)

### (2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容 (単位：円)	変動要因
流動資産 現金・預金	22,816,788増	現金、未収入金の増額
固定資産 有形固定資産	10,405,674減	資産の償却による減額
流動負債	14,331,201増	未払消費税及び買掛金の増額

## 2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

### (1) 総括分析

令和3年度の直売所と温泉保養施設利用者数の合計539,495人に対し、令和4年度は570,384人となり30,889人増となり、売上高も前年度より28,477千円の増額となりました。  
 原材料等の高騰により光熱費の増加による影響が大きく、販売費の一般管理費においては19,644千円の増額となりました。  
 最終的な純利益は3,926千円となりましたが、令和5年度は売上高を伸ばしながら、更に経費削減などに努めていきたいです。

### (2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容 (単位：円)	変動要因
売上高	28,477,453増	売上高、手数料収入等の増額
販売費・一般管理費	19,644,425増	光熱費等の増額
営業外収益	4,222,714増	イベント、キッチンカーによる収入の増額
特別損失	3,600,000増	老朽化による大修繕引当金繰入額の増額

## 情報公開シートⅡ 補足資料

### 3 キャッシュフロー計算書に関する補足

#### (1) 総括分析

新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和により、運営にもプラスの動きが出ています。  
 営業活動によるキャッシュフローは当期末で25,443千円となっており、要因としては未収入金が増えたため（キャッシュレス）と未払い消費税の増加、仕入債務の減少したことにより、前期・前々期と比較すると税引前当期純利益が大幅に改善されています。  
 今後も事業を行っていく上で資金繰りも含め、売上及び利益をいかに確保していくか、留意していく必要があります。

#### (2) 数値が変動した区分及びその要因

項 目	変動内容（単位：円）	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	営業活動に係る資産及び負債の増減	18,933,733増 未収入金が増えたため（キャッシュレス）と未払い消費税の増加、仕入債務の減少による増額
	引当金の増減額	10,549,477減 減価償却の減少による減額
投資活動によるキャッシュフロー	投資有価証券の増減額	4,475,440増 定期預金の預入れによる増額

### 4 市による財政・金融支援等に関する補足

#### (1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途
高圧電力利用施設指定管理事業者電気料金支援金	1,000,000	電気料金高騰に伴う電気料支援金

#### (2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
道の駅「上品の郷」指定管理業務	16,000,000	指定管理業務

#### (3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

# 市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：株式会社 かほく・上品の郷

担当部署名：河北総合支所 地域振興課

## 1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

### （1）中間的な経営目的・事業計画

例年、道の駅では中期的な経営目的・事業計画の目標計画として、純売上高1,000,000千円としていますが、今年度は718,824千円であり目標額を達成することはできませんでしたが、令和3年度に比べ、プラス83,834千円と目標額へ近づいています。

温泉保養施設「ふたごの湯」の利用者も増え、令和4年7月には株式会社リクルートが発行する旅行情報誌「じゃらん」の全国道の駅グランプリ2022では上品の郷が「満足度の高い道の駅」として全国2位に選出されるなど、今後も様々な形で利用客を呼び込めるような魅力的な対策を講じ、地域の活性化に貢献することを期待します。

### （2）主要事業の成果、課題

前々期の課題への取り組みとして、直売所等のキャッシュレス化への取り組みが進み、利用者の利便性が向上し、集客や売上の増加に繋がっているものと考えます。

本年10月からインボイス制度が導入されることから、円滑な導入のために検討を重ね、これまで以上の利益増を目標とし、引き続き経営のスリム化と経費の削減を図りながら運営をすることを期待します。

## 2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

### （1）貸借対照表

会社の財務面の安全性を表す経営指標の一つである「自己資本比率」が52.5%であり、良好な状況である。引き続き、健全な財政運営のため効果的・効率的な運営及び事業実施に努めていただきたい。

## (2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

国際的な原材料価格や電気料等、エネルギーコストの上昇の影響により一般管理費が19,644千円の増額となったが、令和4年度の集客者数は令和3年度に対し30,998人増となり、最終的な営業利益は3,926千円となっています。

引き続き、健全な財政運営のため効果的・効率的な運営及び事業実施に努めていただきたい。

## (3) キャッシュフロー計算書

営業活動によるキャッシュフローは当期末で25,443千円となっており、令和2年度及び令和3年度と比較を行うと改善されていますが、引き続き、経営改善に向けた効率的な運営に努めていただきたい。

## (4) 市による財政・金融支援等

指定管理料として16,000千円を支出しましたが、経営改善に向けた効率的な経営に努めていただきたい。

## 3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

国際的な原材料価格の高騰や原油価格の高騰の影響等により、今後も厳しい状況が続くことが見込まれますが、道路利用者や地域住民等の交流の拠点として、利用しやすくより一層親しまれるよう、サービスの向上及び運営の効率化に努めていくことを期待します。